【カウンセリング実務士】教育課程　到達目標達成度評価表（提出用）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 資格到達目標 | 開発能力 | 具体的な学修目標 | 学生自己評価  （項目別）レベル | 学生自己評価  （領域別）総合評価 |
| 領域１　カウンセリングの基礎となる理論と態度を修得し、カウンセリングを行うための基本的な考え方を身につけている。 | 1-1  カウンセリング基礎能力 | ①こころの病に関する基礎的な知識を修得し、メンタルヘルスの重要性について、社会的問題との関連で考察することができる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ②心理学的援助に関する基本的な理論を学修し、各援助法の効用と限界について述べることができる。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-2  カウンセリング技術能力 | ③カウンセリングの基本である傾聴・受容力を身につけ、他者の話を、肯定的関心をもって聴くことができる。 | 5・4・3・2・1 |
| ④自己開示力や発表力を身につけ、他者と肯定的な関係を形成することができる。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域２　カウンセラーとして必要な心理学的知識を修得し、適切な心理学的対応ができる。 | 2-1  人間関係形成能力 | ⑤他者との関係において、心理学をベースにした対応ができる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑥心理学的な観点で事例をアセスメントし、心理学的援助の方法を提案できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-2  心理学的自己理解・他者理解の能力 | ⑦心理学の知識を修得し、心理学的に適切な自己理解や他者理解をすることができる。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-3  集団を育てる能力 | ⑧集団の理解に必要な心理学の知識を修得し、様々な場面で、カウンセリングの基本姿勢を応用することができる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑨グループへのアプローチの方法や有用性を理解し、「ファシリテーターシップ」（率直で受容的な集団を育てる力）を身につけることができる。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域３　カウンセリング・マインドやカウンセリング技能が向上し、日常生活における応用が可能となる能力を備え、スペシャリストとして学びを継続する重要性を理解している。 | 3-1  カウンセリング実務の総合的実践力 | ⑩対人援助の基本的な考え方を理解し、積極的に対人援助を行うことができる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑪対人援助の技法を修得し、適切に使用できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 3-2  実践活動における学びの継続力 | ⑫対人支援活動の実践から、継続的に学びを深めることができる。 | 5・4・3・2・1 |

〇評価結果の全体振り返りと今後の自分の開発能力と学修課題について（300字程度 学生記入）

|  |
| --- |
|  |

教職員提出確認

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大学ｺｰﾄﾞ |  | 大学名 |  | 学部・学科 |  |
| 学籍番号 |  | 氏名 |  |